

鹿児島大学教育学部
同窓会会報
第22号
令和2年11月20日
発行
鹿児島大学教育学部同窓会
〒890-0065 鹿児島市郡元1-20-6
TEL・FAX 099-285-7718
●同窓会ホームページ
<http://kue-dousokai.com/>
編集・印刷
濱島印刷(株)

コロナ禍が与える試練

鹿児島大学教育学部同窓会会長 東 寛治



会員の皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

永郁男前会長の後を受け、五代目の教育学部同窓会会長を務めることになりました。突然のことでの準備もできておりませんが、役員の方々や会員の皆様のご支援ご協力を賜りな

から務めを果たしたいと思っております。どうかよろしくお願いたします。

さて、人類が今までに経験したことのない新型コロナウイルスが猛威を振るい、またたく間に世界全体に広がりました。経済や社会生活に莫大な影響を与え、人々の日常や計画を狂わせ、楽しみや喜びを奪っています。

教育学部同窓会も予定していた会議や事業等の中止または変更を余儀なくされました。6月に計画していた役員会・理事会を中止し、資料による書面会議に変更しました。また、8月に予定していた定期総会・懇親会も理事会の承認を得て中止することとしました。

このような相次ぐ会の中止は、同窓会の目的である集い、語り、絆を深めるという機会を壊してしまい、会員の皆様と懇親会の世話担当学年の皆様にも申し訳なく思っております。

新型コロナウイルスは、まだ収束の気配もなく感染拡大を続け、人々に不安を与えていま

す。しかし、その一方でコロナは我々に人間の人間たる本質である利他性が大切であることを再認識させています。お互いに助け合い、他の人に迷惑をかけるという行動をとることの大切さであります。教育学部同窓会にも当然そのような行動が必要であり、会議も3密を避けるための広い場所、参加人数の縮小、会議の時間短縮、議題の精選等、従前の会議とは違った工夫が求められています。

鹿児島大学佐野輝学長は、本年度の入学式で、「新型コロナウイルス感染症は大きな試練だが、人類が蓄えてきた知の力を十分に生かす時」と新入生を激励されました。

教育学部同窓会には、諸先輩方が蓄えてきた知識や知恵、絆という「知の力」があります。この力を結集しコロナ禍の試練を乗り越えたいと思います。

鹿児島大学教育学部 同窓会に寄せて

鹿児島大学教育学部長 有倉 巳幸



今年度 教育学部長に就任しました有倉巳幸(ゆうくらみゆき)と申します。

着任早々、コロナの問題で様々な変更に対応することになりました。教育学部同窓会においても、役員会・理事会をはじめ、同窓会総会として、毎年、同窓会の皆様と学生との交流を図ってきた「鹿児島の教育を語る会」も中止せざるを得ないこととなり、大変残念な思いをしております。

コロナの問題は、人他者と関わらないと生きていけないという根本命題を否定するような状況を作ってしまった。ソーシャルディスタンスというのは、聞こえはよいかもしれませんが、他人と接近せずに関わることを求めているものです。このおかげでICTの活用が加速し、デジタルコンテンツを活用した授業も進みました。しかし、大学においては実習や演習を含め、対話やディスカッションを中心としたアクティブラーニングへとシフトしていく中での問題であり、これらを制約せざるを得

ないことは残念でした。知識を習得するだけであるならばコンテンツの学習で十分でしょうが、思考・判断・表現といった力は、ICTだけではカバーしきれないところがあります。今回Zoomというアプリケーションを使って授業を行いました。発言のタイミングや話しているときの間合い、表情などの非言語的な情報がどうしても不足してしまい、相手の気持ちを受け取ったり、話し合いを深めたりすることが十分ではありませんでした。さらに言えば、親密な関係に基づき学生たちの安心感が形成できません。2年生以上はこれまで築いてきた関係があったのでまだよかったです。入学時点からこの授業に参加せざるを得なかった1年生においては大きな制約となりました。

このように未曾有の状況の中で、大学及び教育学部は、初めての遠隔授業を実施しました。先生方の努力や工夫もあり、学生らの学習機会をなんとか確保できたかと思えます。今後は、感染状況の推移を見つつ、対面授業へとシフトしていくことにしています。9月現在、教育学部の学生は、感染対策を徹底した中で、学校での実習に参加しています。1年生は鹿児島市内の小中学校での学校体験を、2年生は附属・代用附属での参加観察実習を、そして3、4年生は教育実習を行っています。

令和2年度 同窓会運営基本方針

教育学部同窓会は、平成10年に発足して今年22周年を迎えた。鹿児島大学教育学部の沿革をたどれば、1875(明治8)年に始まり145年の年輪を刻む。鹿児島大学の中で本学部は最も長い歴史に支えられている学部として、2万余人の卒業生を擁する同窓会である。

本会は、会員相互の親睦、鹿児島大学及び本学部の発展と本県教育の振興を図ることを目的にして、今日的課題をとらえ活動してきている。

本年も、さらに組織の拡充・活性化、在学生への支援、各地域の教育力の涵養、鹿児島大学同窓会連合会との連携に努め、以下の活動を推進する。

重点事項

- 1 組織の充実のために、各役員及び会員の積極的な参加を推進する。
- 2 学年会員同士の絆を強めるために、支部、学年ごと同窓会の充実を図り、さらに県外在住同窓生の組織化のあり方を検討する。
- 3 会の運営を充実するため、総務、研修、広報の専門部活動の活性化を図る。
- 4 「鹿児島の教育を語る会」活動等を通して、「進取の気風」にあふれる在学生の育成に努め、会員との交流を深める。
- 5 卒業後の進路が多岐にわたる状況を考慮し、在学生への支援に努める。
- 6 鹿児島大学及び鹿児島大学教育学部が行う国際交流活動の支援に努める。
- 7 「人材活用事業(地域の要請に応じた児童・生徒の諸指導、生涯学習等)」の周知を図り、その推進に努める。
- 8 会費納入奨励月間を設けて、会費未納者への会費納入を勧める。また、運営協力金への協力依頼を行い、財政基盤の強化を図る。

退任に当たって

教育学部同窓会前会長 松永 郁男



4月8日 午後1時、理事会を開き、退任を了承して

ただいた。私は糖尿病を抱えて、医者から減量を言われていた。前会長の石神正明会長から、次の会長指名を受けた時に任期は持つであろうと思いが体重とともに体力低下も起こしてしまい、直立姿勢を取れなくなってしまう。これではいけないと思い、トレーニングに精を出してみた。一向に改善は見られなく一つの決心をせざるを得ない状況になった。(追記、その後、7月9日に転倒して救急車で厚地脳外科に運ばれた。)

きなかつたことを心からおわびします。振り返ると、元教育学部長 亀田久先生から、同窓会連合会があるからと誘われてから、30余年を数える。「同窓会がないのは教育学部だけだよ」と同窓会はこの前だった気もするが、これが現実である。同窓会までは作ったが、「関東支部、関西支部立ち上げ」までは果たせないうまま退任することになり、悔いは残るが、体調を考えてこれで「潔く、よし」としたい。

令和元年度 教育学部同窓会一般会計決算報告書

1. 収入の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 区分, 予算額, 決算額, 増減額, 備考. Rows include 前年度繰越費, 運営協力金, 雑収入, 会計区分変更, 合計.

2. 支出の部

Table with 5 columns: 区分, 予算額, 決算額, 増減額, 備考. Rows include 事務経費, 会議費, 事業費, 同窓会連合会経費, 会計区分変更, 予備費, 合計, 次年度繰越額.

令和2年度 教育学部同窓会予算

(単位:円)

1. 一般会計

Table with 4 columns: 区分, 令和元年度決算額, 令和2年度予算額, 備考. Rows include 前年度繰越, 会費, 運営協力金, 雑収入, 会計区分変更, 合計.

2. 特別会計

Table with 4 columns: 区分, 令和元年度決算額, 令和2年度予算額, 備考. Rows include 前年度繰越, CD販売, 合計.

Table with 4 columns: 区分, 令和元年度決算額, 令和2年度予算額, 備考. Rows include 一般会計へ流用, 合計.

Table with 4 columns: 区分, 令和元年度決算額, 令和2年度予算額, 備考. Rows include 前年度繰越, 合計.

Table with 4 columns: 区分, 令和元年度決算額, 令和2年度予算額, 備考. Rows include 一般会計からの組み替え, 合計.

Table with 4 columns: 区分, 令和元年度決算額, 令和2年度予算額, 備考. Rows include 前年度繰越, 一般会計からの組み替え, 合計.

Table with 4 columns: 区分, 令和元年度決算額, 令和2年度予算額, 備考. Rows include 国際交流基金, 学部国際交流活動支援, 合計.

令和2年度事業計画

4月8日(水) 第1回本部三役会
5月27日(水) 第2回本部三役会
5月31日(日) 会計監査
6月20日(土) 役員会・理事会↓中止
7月6日(月) 第1回広報部会(「会報22号」の刊行企画について話し合い・原稿依頼)

9月上旬 第4回本部三役会
11月27日(金) 第19回「鹿児島の教育を語る会」協議・懇親交流会↓中止
11月下旬 「会報22号」の発行
12月5日(土) 総務部と54・55・56年卒の学年代表者との打合せ
2月20日(土) 全学年代表者会(第23回総会・懇親会開催への協力要請)

4月1日(水) 教育学部新入生オリエンテーション(新入生への会長挨拶)↓中止
4月3日(金) 鹿児島大学入学式
鹿児島大学入学生式
式場・県立体育館↓中止
4月4日(土) 同窓会連合会 総会・懇親会「卒業生の集い」↓中止

令和2年度学部及び連合会の関連行事

4月1日(水) 教育学部新入生オリエンテーション(新入生への会長挨拶)↓中止
4月3日(金) 鹿児島大学入学式
鹿児島大学入学生式
式場・県立体育館↓中止
4月4日(土) 同窓会連合会 総会・懇親会「卒業生の集い」↓中止
5月25日(月) 同窓会連合会 第1回幹事会(連合会報30号発行関係)↓メール会議
7月20日(月) 同窓会連合会 第1回役員会(9学部同窓会長)
11月中旬 同窓会連合会 第2回幹事会(連合会報31号発行関係)
12月5日(土) きばい・やんせ、鹿大生2020!
1月下旬 同窓会連合会 第2回役員会(9学部同窓会長)
3月中旬 同窓会連合会 第3回幹事会連合(総会・懇親会関係)
3月25日(木) 同窓会連合会 第3回役員会(9学部同窓会長)
鹿児島大学卒業式 式場・県立体育館(会長臨席)

鹿児島大学教育学部同窓会役員

顧問 鹿児島大学教育学部同窓会 名誉会長(新) 池上俊秀
会長(新) 武田憲太郎
副会長(新) 石倉三郎
理事(新) 宮下千和
後堂福宮伊平久文東松石池有上土武坂島藤園澤下千和

支務 幹事 監事
(大熊) (肝) (曾) (指) (伊) (川) (日) (川) (始) (鹿) (児) (世) (話) (役)
(島) (毛) (属) (於) (宿) (佐) (水) (薩) (置) (辺) (良) (島)
大羽肥下樋内 向早刈榎木 竹野櫛江立
野生後戸園倉 原川川本山 之内間山口山
榮昌昌勝正昭 良孝勝照 則ひろ重英龍
郎弘幸一郎夫 翼行子人夫 好み遠雄男

会費納入についてのお願い

教育学部同窓会は、会員相互の親睦、鹿児島大学及び本学部の発展と本県教育の振興を図ることを目的に...

(TEL・FAX 099-1285-17718)

「同窓会運営協力金」募金のお礼とお願い

同窓会の運営は、新入生(在校生や卒業生の未納者も含む)の入会金(終身会費1万円)で賄われております...

「同窓会運営協力金」募金をお願いをしてまいりました。お陰様で募金呼び掛け当初より現在まで大変多くの篤志をいただき...

昨今の厳しい経済状況の中で大変恐縮に存じますが、同窓会の持続的な活動のために事情をご賢察の上ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



2018年12月から2019年7月23日までに、運営協力金にご賛同をいただいた皆様のお名前です。ご協力誠にありがとうございました。

Table listing names and graduation years for the 2018-2019 period. Includes names like 須賀上野, 昭和37年卒, etc.



2019年7月25日から2020年9月18日までに、運営協力金にご賛同をいただいた皆様のお名前です。ご協力誠にありがとうございました。

Table listing names and graduation years for the 2019-2020 period. Includes names like 生駒渡, 昭和34年卒, etc.



異なる世代を知る絶好の機会

第18回「鹿児島の教育を語る会」を開催

学生・教職員・卒業生等約70人が参加し、令和元年11月29日16時過ぎから「鹿児島の教育を語る会」が教育学部で開催された。グループ協議は、教師を夢見る各専修学科代表の基調提言をもとに始まり、約1時間半、学生と卒業生が熱心に「教育」を語り合い、参加者は老いも若きもお互いを知る絶好の機会となった。18時半から開かれた懇親交流会はアルコール抜きで行われ、バイキング形式の食事を摂りながら、和やかに談笑し、親睦が図られた。

開会行事

開会行事は、例年管理棟の大会議室で行われているが、管理棟が大規模改修工事のため101号室(階段教室)で行われた。松永郁男同窓会会長、上谷順三郎教育学部長のあいさつに続き、同窓会の歌「我が友よ」を音楽専修学科宇都香さんの指揮で斉唱し、開会した。

グループ協議

13の専修学科が6組に分かれ、第一・第二講義棟の各教室で、16時半から18時過ぎまで話し合われた。「未来への挑戦」というテーマについて、各専修学科代表2人の基調提言をもとにして、卒業生の司会で話し合いは進められていった。



各専修学科代表が発表した「未来への挑戦」は次のとおりである。

・誰もが学べる学校を

・実践的で体験的な学びの場を(まずは学級園を大切に)

・「生きる力」を育む

・実践を大事にする教育活動の展開

・子どもに寄り添うことのできる教師になる

・子どもたちと共に学び挑戦し続ける教師

・美術の指導を通して自分自身や他者の良さを感じられる心を育てる

・鹿児島の教育に貢献する

・人生を教えることができる人間になること

・生徒のために働ける強い教師

・生徒と共に成長できる教師

・子どもたちが日本の未来を担える人材となること

このような未来の教師を目指す意欲ある学生たちに、先輩たちはこれまでの経験やエピソードを交えたり、疑問や質問を一緒に考えたりしながら熱心にアドバイスをしていた。

懇親交流会

グループ協議の後、教育学部食堂(エデユカ)でバイキング形式の懇親交流会が開かれた。各グループの代表が会に参加した感想や意見を発表した後、オードブル盛り合わせ、巻盛り合わせ、おでん、天ぷら、ローソトビーフ等を食べながら幅広い話題で盛り上がり、会員相互の親睦が図られた。

参加した学生の感想

自分とは異なる領域で経験を積んでくれた方々、自分にとっては未知の学校現場でその実態を目にしてこれら先生方との意見交流は新しい観点を獲得の絶好の機会となった。提言者や参加者の話を聴く中で、こうした場において自分の経験から生み出される言葉ほど強いものはないなと感じた。興味があるからこそ好きだからこそその問題点や理想形も明確にできる。そんな強みを自分も見つけたい。

現職の先生方、退職された先生方とお話ができる貴重な機会をいただけて大変嬉しく思った。普段の大学の講義では聴けない話を聴くことができ参加してよかったなあと考えた。また、他専修の人と教育について熱く語る機会などそうそうなく、周りの友人の、教師・教育に対する思い、意識の高さに圧倒された。

グループ協議の後、教育学部食堂(エデユカ)でバイキング形式の懇親交流会が開かれた。各グループの代表が会に参加した感想や意見を発表した後、オードブル盛り合わせ、巻盛り合わせ、おでん、天ぷら、ローソトビーフ等を食べながら幅広い話題で盛り上がり、会員相互の親睦が図られた。

保健体育科の教員になるために

教育学部保健体育専修3年 横山 恭仁



私が保健体育科の教員になりたいという夢を持ち始めたのは、中学生の頃でした。中学時代最も関わりの深かった先生の授業や部活動での姿を見て、「保健体育科の教員になって、授業や部活動を通して子どもたちと一緒に体を動かしたり、指導者としてサッカーに関わったりしていけたら楽しいだろうなあ」と思ったことが、この夢を持ち始めたきっかけであったことを覚えています。高校でも、保健体育科の教員になりたいという夢は変わらなず、大学は教育学部の保健体育専修に決めました。

教師を志して

教育学部心理学専修4年 一松 開斗



私は、小さい頃から「この職業になりたい」という思いがありました。この職業は、子どもたちの未来を導くという責任が大きいと感じていました。また、転校生だった私がクラスに馴染めるように尽力してくださったことを覚えています。これらの経験から私は恩師のようになりたいと思い、教師という職業を志すようになった。

困難な日々の中で

社会福祉法人常盤会本部次長 昭和54年卒 脇黒丸 悟



2020年は東京オリンピックの開催を控え、新型コロナウイルスの影響で、遠隔授業が増え、サークル活動もしていないということでした。熊本の御両親が、地震のあとが落ち着いたところに、大雨の被害が出ている中、鹿児島の新型コロナウイルス発生を心配されているといま

自分の学生時代を振り返ると、剣道三昧の日々でした。その後、教員になり、家族をもち、いくつかの学校と行政で勤め、異動を繰り返していた中、中学生になった息子がいる日、「お父さんの名前があつたよ。」と言ってききました。たまたま訪れた大学の武道場に私の名札が下がっているのを見つけたというのです。当時卒業後20年。また自分の名札が同じ場所を刻んでいたのかと感無量でした。暑い日、寒い日の稽古、試合で福岡、東京に出かけたこと、柔道仲間との語り、旅費を稼いだアルバイト、県内外から来た学生や恩師との出会い、急に自分の世界が広がった感じがし、その中で一生の友を得、たった4年間で、一生の思い出を作った場所です。いまだに昨日のことのように感じられ、できることなら映画のように、一瞬でもあの日に帰りたいと思いました。今年に入り、当たり前だと思っ

編集後記

令和二年は、コロナ禍により異例尽くめである。オリンピックや鹿児島国体等、諸行事は延期又は中止された。教育学部同窓会総会・懇親会も中止となった。また、松永郁男会長が病氣により途中退任された。しかし、本同窓会は、コロナ禍を乗り越えるべく、「失ったものを数えるのではなく、今あるものを新たにできるものに変える」という発想で、東寛治新会長を中心に前向きに船出した。玉稿をお寄せくださいました皆様から感謝申し上げます。広報部(文城テツ子、後藤千和子、上妻和夫、田之上齊)